

# 研究業績一覧

2008年1月～12月

研究業績を学科別に氏名の五十音順に掲載し、著書、論文、翻訳、調査報告等は、【「書名または論文名」共著者名、発行所、雑誌名巻号、pp.〇〇-△△.】を、学会発表、講演、公演、展覧会等は、【発表者・演者・出品者名、題名、学会・主催団体名、開催場所、発表月】を記載する。

## 学 長

杉 山 道 雄 (SUGIYAMA, Michio)

- <翻訳> 「バイオエネルギー生産の鶏卵生産への影響」 ハンス・ウイルヘルム・ウイントホルスト著 『畜産の研究』 62-1, 1月号, pp.167-175.
- <翻訳> 「バイオエネルギー生産ブームの世界鶏肉生産への脅威」 ハンス・ウイルヘルム・ウイントホルスト著 『畜産の研究』 62-2, 2月号, pp.245-251.
- <翻訳> 「10年後 (2016年) における世界鶏肉産業の展望—1970年及び2006年を比較し予測する」 H. W. ウイントホルスト著 『畜産の研究』 62-4, 4月号, pp.347-447.
- <翻訳> 「世界豚肉生産と貿易の動態と2014年への展望」 H. W. ウイントホルスト著 鷺見孝子 (共訳者) 『畜産の研究』 62-4, 6月号, pp.642-646.
- <翻訳> 「世界鶏卵産業におけるアジアの役割と展望 (1) —過去、現在および2015年の予測分析」 H.W.ウイントホルスト著, 鷺見孝子, 尾木千恵美 (共訳者) 『畜産の研究』 62-8, 8月, pp.849-854.
- <翻訳> 「世界鶏卵産業におけるアジアの役割と展望 (2) —過去、現在および2015年の予測分析」 H.W.ウイントホルスト著, 鷺見孝子, 尾木千恵美 (共訳者) 『畜産の研究』 62-9, 9月号, pp.951-958.
- <翻訳> 「1970年から2006年の期間における牛肉生産の地域別—時代別の動態と2016年までの予測」 H.W.ウイントホルスト著, 大島俊三, 鷺見孝子 (共訳者) 『畜産の研究』 62-10, 11月号, pp.1053-1060.
- <翻訳> 「2015年までの世界鶏卵生産の地域別発展予測」 H. W. ウイントホルスト著 鷺見孝子, 尾木千恵美 (共訳者) 『鶏卵肉情報』 夏季特大号, 7月号, pp.76-87.
- <翻訳> 「EUにおける家禽肉生産と貿易形態の変容」 H. W. ウイントホルスト著, 大島俊三, 鷺見孝子 (共訳者) 『畜産の研究』 12月号, pp.1257-1262.
- <翻訳> 「アジア 世界豚肉生産の新しい拠点—1996年以降の動向分析」 H.W.ウイントホルスト著, 大島俊三, 鷺見孝子 (共訳者) 『畜産の研究』 62-11, 11月号, pp.1159-1162.
- <報告文> 「ちびっ子食農教育」 実践報告 『東海女子短期大学紀要』 34号.
- <論文> 「日本のバイオエタノールの自給について」 『農協ニュース』 478号, 1月.
- <論文> 「食品の安全管理—食品表示からかんがえる安全と安心」 山澤和子 (共著者) 『ヘルスアップ21』 8月号, pp.46-51.
- <論文> 「鶏卵 (table egg) の世界に於ける課題」 『日本調理科学会誌』 41-4.1, 4月号, pp.282.
- <小論> 「バイオ燃料日本でも本格生産を」 岐阜新聞.
- <小論> 「オンリーワン学科の評価」 『岐阜高農から岐阜大学農学部への85周年の歩み』, pp.195-196.
- <小論> “Poultry Industry in Japan” “International Egg Market Review” International Egg Commission August,2008”, September, pp.1-3.
- <学会発表> 「日本におけるバイオエネルギー生産の意義と役割」 山澤和子 (共著者), 中部農業経済学会, 静岡大会 (静岡芸術文化大学), 8月.
- <学会発表> 「食健康学におけるフードシステムの課題と役割」 鷺見孝子, 尾木千恵美 (共著者), 日本フードシステム学会, 明治大学, 7月.
- <講演> 「世界養鶏産業の現状と将来への展望」 日本卵業協会, 仙台, 11月.
- <講演> 「バイオエタノールと岐阜県の養鶏」 岐阜県畜産振興会, 2月

- <講演>「これからの穀物生産は燃料か 食糧か」東海学院大学公開講座, 11月.
- <講演>「スローフードによる岐阜の活性化」『岐阜「食」を考える会』, 10月.

## 健康福祉学部総合福祉学科

### 阿部 俊彦 (ABE, Toshihiko)

- <論文>「テレビに見られる家族関係」『東海学院大学紀要』, 第1号, pp1-8.
- <論文>「精神障害者の生活技法」『参加と批評』, 第3号, 印刷中.
- <報告書>「緩和ケア医の専門性の獲得と時代背景」阿部俊彦, 副田義也編『死の社会学的研究』研究課題番号 17203044(基盤研究(A)報告書) pp26-32.
- <学会発表>「阪神淡路大震災後の遺児ケアの問題について」日本保健医療社会学会関西定例会, キャンパスプラザ京都, 3月.
- <学会発表>「阪神淡路大震災後の遺児ケアに関する一考察」現代医療社会研究会, 早稲田大学, 6月.
- <講演>「9・11後のアフガニスタン」居宅介護事業支援部会, 東海学院大学, 10月.

### 天沼 香 (AMANUMA, Kaoru)

- <著書>『故国を忘れず新天地を拓く～移民から見る近代日本～』(単著, 205ページ), 新潮社, 8月.
- <論文>「カナダ移民・ボリビア移民・ハワイ移民・満州殖民への視座」『東海学院大学紀要』第1号, pp.9-21.
- <時評>「世界の中の日系人～日本人を写す“鏡”～」『岐阜新聞』サンデーコラム, 3月23日付朝刊.

### 後山 恵理子 (USHIROYAMA, Eriko)

- <著書>「高齢者に対する支援と介護保険制度の教育計画」川廷宗之編『社会福祉士養成教育方法論』, 弘文堂, pp.160-166.
- <著書>「スーパーヴィジョンの理解」高橋流里子編『相談援助実習』, ミネルヴァ書房, pp.114-124.
- <著書>「地域社会にある施設やサービス事業所の機能と役割」水野喜代志編『高齢社会の老人福祉』, 保育出版社, pp.144-146.
- <著書>「地域包括ケアと地域密着型サービス」『うかるぞケアマネ2009年版』, 週刊住宅新聞社, pp.179-200.
- <著書>「高齢者の社会参加の道を求めて」川廷宗之編『社会福祉をはじめて学ぶあなたへー社会福祉入門ー』, ヘルス・システム研究所, pp.117-120.
- <論文>「高齢者就労の特徴と課題ー文献研究ー」『東海学院大学紀要』第1号, pp.31-46.
- <論文>「高齢者の就労目的と満足度ー予備的事例調査からー」『東海学院大学紀要』第1号, pp.23-30.
- <論文>「大学生活から高校生活に移行にともなう適応感に関する一考察」『東海学院大学紀要』第1号, pp.47-50.
- <学会発表>「社会福祉系大学ヒアリング調査による教員の学生認知に関する研究」宮嶋淳他(共著), 日本社会福祉教育学会第4回大会, 11月.
- <学会発表>「社会福祉系4年制大学における初年次教育の現状と課題ー「社会福祉教育に関する実態調査」の結果からー」志水幸他(共著), 日本社会福祉教育学会第4回大会, 11月.
- <学会発表>「4年制福祉系大学新入学生の生活体験および学習活動と学生生活に関する考察ー新入生の変化を中心にー」嘉村藍, 後山恵理子他(共著), 日本社会福祉教育学会第4回大会, 11月.
- <学会発表>社会福祉新入生の現状ー福祉系大学新入生意識調査の結果からー」杉山克己他(共著), 日本社会福祉教育学会第4回大会, 11月.
- <講演>基調講演「地域との連携と子どもの主体的な福祉教育を考える」『社会福祉研究会2008』山県市社会福祉協議会及び教育委員会主催, 2月.

**遠藤 幸子 (ENDO, Sachiko)**

- <論文>「施設における高齢者ターミナルケアのあり方 ―介護施設からホスピスへの転院者の事例を通して―」『東海女子短期大学紀要』Vol.34, pp79-88.
- <学会発表>「介護保険施設における高齢者のターミナルケア―施設から緩和ケア病棟に転院した事例から見えるもの―」第6回日本心身健康科学会学術集会 人間総合科学大学 東京サテライトキャンパス 東京 2008年2月.
- <講演>「ホスピス・緩和ケアについて」平成19年度東海女子短期大学生涯学習センター秋講座 東海女子短期大学, 2008年1月.
- <講演>「高齢者ターミナルケアのゆくえ ～人生最期の迎え方～」平成20年度東海学院大学公開講座 東海学院大学, 2008年11月.

**岡本 香 (OKAMOTO, Kaori)**

- <論文>「障害学生の学習支援に関する一考察 ノートテイクに関するアンケート調査より」岡本香, 林信治(共著者)『東海学院大学紀要』第1号, pp.91-94.
- <論文>「本学における障害学生支援」林信治(共著者)『東海学院大学紀要』第1号, 77-84.
- <学会発表>「Effect of communicative modes and intention of self-presentation on the perception of communication qualities and the communication behavior」International congress of psychology, Berlin-Germany, 7月.
- <学会発表>「携帯電話コミュニケーションに関する一考察」東海学院大学学術交流集会, 東海学院大学, 10月.

**岡本 真理子 (OKAMOTO, Mariko)**

- <作品>「清須市新川地区町屋改修工事設計監理」清洲市, 52㎡.
- <作品>「奈良・O邸基本設計」木造2階, 151㎡.
- <講演>「世界の景観―まち、むら、人々のくらし」東海農政局, 1月.
- <社会活動>環境影響評価審査会(国土交通省中部地方整備局, 愛知県・岐阜県), 環境審議会(愛知県), トヨタ自動車環境アドバイザー他.
- <社会活動>開発審査会, 風致地区審議会(以上岐阜県)他.
- <社会活動>景観審議会, 検討委員会(農水省東海農政局, 岐阜県, 各務原市, 犬山市)他.
- <社会活動>建築審査会(各務原市), 名古屋市住宅都市局・東山動植物園再生コンペ審査, 名古屋市文化財調査委員会他.

**川口 豊 (KAWAGUCHI, Yutaka)**

- <公演>能「班女(はんじょ)」小鼓担当, 東京靖国神社, 靖国神社能舞台, 5月.
- <公演>能「半部(はじとみ)」小鼓担当, 日本昭和村, 日本昭和村能舞台, 5月.
- <公演>中国四川大地震チャリティコンサート, 名古屋電気文化会館ザ・コンサートホール, 7月.
- <公演>創作オペラ「閻魔大王」閻魔大王役 名古屋市芸術創造センター, 8月.
- <研究発表>「音楽療法の有効性に関する研究―介護老人保健施設入所者を対象として―」第56回日本教育医学会大会, 大阪教育大学, 8月.
- <公演>能「草子洗小町」小鼓担当, 日本昭和村, 日本昭和村能舞台, 10月.
- <公演>オペラ「森は生きている」長老他役 名古屋二期会, 名古屋市芸術創造センター, 10月.

**木戸 美代 (KIDO, Miyo)**

- <試験官>「介護福祉士国家試験実地試験委員」3月, 財団法人社会福祉振興・試験センター.
- <講演>「介護福祉士国家試験に係る介護技術講習会」主任指導者, 5月～8月, 東海学院大学.
- <講演>「介護福祉士国家試験受験対策講座」9月, 11月, 華陽介護事業所, 岐阜市.

<講演>「ホームヘルパー2級研修・介護技術」9月, 山県市社会福祉協議会.

<社会活動>岐阜県福祉サービス第三者評価事業評価調査者.

#### 小 高 良 友 (KODAKA, Yoshitomo)

<論文>「ゲイ男性の『乱交志向』について考える」『東海学院大学紀要』第1号, pp.51-56.

#### 鈴 木 武 幸 (SUZUKI, Takeyuki)

<著書>「ベーシックシリーズ ソーシャルウエルフェア 新版 精神保健福祉援助技術 I (総論)」青木聖久  
他 (共著者), 学文社, pp. 117-130.

<講演>「生徒の保護者との問題・トラブル等への対応について」可児市立蘇南中学校及び可児地区小中学校教  
職員研修会, 可児市立蘇南中学校, 8月.

<講演>「児童への支援・援助技術について」岐阜県児童館児童指導員技術認定講習会, 岐阜県児童館連絡協議会,  
ハートピア安八, 9月.

<講演>「不登校・相談室児童生徒への対応」美濃加茂市立西中学校教職員研修会, 美濃加茂市立西中学校, 11月.

<講演>「話し合おうエイズ」岐阜総合学園高等学校2年生授業, 岐阜総合学園高等学校, 12月.

#### 浜 田 美 佐 子 (HAMADA, Misako)

<論文>「『赤毛のアン』を地域の社会人の方々と読む—生涯学習「エクステンション講座—原書で読む『赤  
毛のアン』を通して学んだこと」『東海学院大学紀要』第1号, pp.57-67.

<講演>「ふたたびアメリカ文化を学ぼう! —ヴォランティア活動」東海学院大学短期大学部生涯学習セン  
ター, 5月.

<講演>「ふたたびアメリカ文化を学ぼう! —さまざまな人間模様—映画産業」東海学院大学短期大学部生涯  
学習センター, 5月.

<講演>「ふたたびアメリカ文化を学ぼう! —ジャズを通してのハーレム再生」東海学院大学短期大学部生涯  
学習センター, 6月.

<講演>「ふたたびアメリカ文化を学ぼう! —夢をかなえる野球」東海学院大学短期大学部生涯学習センター  
主催, 6月.

<講演>「ふたたびアメリカ文化を学ぼう! —ディズニールンドの思い出」東海学院大学短期大学部生涯学習  
センター, 7月.

<講演>「原書で楽しむアガサ・クリスティーの世界—ディテールの積み重ねが形作る小説世界」東海学院大  
学短期大学部生涯学習センター, 10月.

<講演>「原書で楽しむアガサ・クリスティーの世界—ディテールに落とされた謎解きのヒント」東海学院大  
学短期大学部生涯学習センター, 10月.

<講演>「原書で楽しむアガサ・クリスティーの世界—性格描写と会話」東海学院大学短期大学部生涯学習セ  
ンター, 11月.

<講演>「原書で楽しむアガサ・クリスティーの世界—描かれる階級意識とボワロという外国人」東海学院大  
学短期大学部生涯学習センター, 11月.

<講演>「原書で楽しむアガサ・クリスティーの世界—美味しい話と生きていく私たち」東海学院大学短期大  
学部生涯学習センター, 12月.

### 健康福祉学部食健康学科

#### 内 田 美 佐 子 (UCHIDA, Misako)

<論文>「残菜調査による栄養摂取量の把握についての一考察Part3 給食の栄養管理における食事摂取状況調

- 査(10割法)の効率性」尾木千恵美,平光美津子(共著者)『東海女子短期大学紀要』第34号, pp.1-10.
- <論文>「「ちびっ子食農教育」実践報告」杉山道雄,石原加代子,尾木千恵美,古賀裕子,鷺見孝子,平光美津子,山澤和子(共著者)『東海女子短期大学紀要』第34号, pp.89-100.
- <研究発表>「給食の効率的な栄養管理に用いられる食事摂取状況調査(10割法)についての一考察」尾木千恵美,平光美津子(共著者),第55回日本栄養改善学会学術総会,鎌倉芸術館,鎌倉市,9月.

#### 大 森 正 英 (OMORI, Masahide)

- <学会発表>「動物細胞におけるゲラニルゲラノイン酸の生合成」(共同発表),日本ビタミン学会第60回大会,仙台市,仙台国際会議場,5月.
- <学会発表>「高齢者の健康生活調査について」(共同発表),第54回東海公衆衛生学会,静岡市,静岡県男女共同参画センター,7月.
- <学会発表>「高齢者の健康状態について」(共同発表),第54回東海公衆衛生学会,静岡市,静岡県男女共同参画センター,7月.
- <学会発表>「高齢者の生活満足度について」(共同発表),第54回東海公衆衛生学会,静岡市,静岡県男女共同参画センター,7月.
- <学会発表>「高齢者の活動能力について」(共同発表),第54回東海公衆衛生学会,静岡市,静岡県男女共同参画センター,7月.
- <学会発表>「高齢施設入居者に対する音楽療法の有効性」(共同発表),第54回東海公衆衛生学会,静岡市,静岡県男女共同参画センター,7月.
- <学会発表>「地域高齢者の健康生活調査について(1)～調査対象者の健康状態と生活の実態～」(共同発表),第56回日本教育医学会大会,大阪教育大学,8月.
- <学会発表>「地域高齢者の健康生活調査について(2)～健康状態と病気との関連～」(共同発表),第56回日本教育医学会大会,大阪教育大学,8月.
- <学会発表>「地域高齢者の健康生活調査について(3)～生活満足度とその要因～」(共同発表),第56回日本教育医学会大会,大阪教育大学,8月.
- <学会発表>「地域高齢者の健康生活調査について(4)～日常における活動能力～」(共同発表),第56回日本教育医学会大会,大阪教育大学,8月.
- <学会発表>「音楽療法の有効性に関する研究－介護老人保健施設入居者を対象として－」(共同発表),第56回日本教育医学会大会,大阪教育大学,8月.
- <学会発表>「地域高齢者の生活の実態と健康状態(1)」(共同研究),第67回日本公衆衛生学会総会,福岡市,福岡国際会議場,11月.
- <学会発表>「地域高齢者の生活の実態と健康状態(2)」(共同研究),第67回日本公衆衛生学会総会,福岡市,福岡国際会議場,11月.
- <学会発表>「高齢者のQOLに影響する要因について(1)」(共同研究),第67回日本公衆衛生学会総会,福岡市,福岡国際会議場,11月.
- <学会発表>「高齢者のQOLに影響する要因について(2)」(共同研究),第67回日本公衆衛生学会総会,福岡市,福岡国際会議場,11月.
- <学会発表>「幼児対象の食育実践にみる野菜栽培体験の影響」(共同研究),第67回日本公衆衛生学会総会,福岡市,福岡国際会議場,11月.
- <学会発表>「介護面から見た音楽療法の有効性－老人保健施設入居者を対象として－」(共同研究),第67回日本公衆衛生学会総会,福岡市,福岡国際会議場,11月.
- <研究発表>「アルコール摂取と栄養の関係について」,東海学院大学・東海学院大学短期大学部学術交流集会,東海学院大学,10月.
- <講演>「人はなぜ太る」,各務原市福祉施設連絡協議会,東海学院大学,10月.
- <講演>「生物としての人間と健康」,東海学院大学公開講座,東海学院大学,10月.

尾 木 千恵美 (OGI, Chiemi)

- <論文>「残菜調査による栄養摂取量の把握についての一考察 Part3 給食の栄養管理における食事摂取状況調査(10割法)の効率性」内田美佐子, 平光美津子(共著者)『東海女子短期大学紀要』第34号, pp.1-10.
- <学会発表>「給食の効率的な栄養管理に用いられる食事摂取状況調査(10割法)についての一考察」内田美佐子, 平光美津子(共著者), 第55回日本栄養改善学会学術総会, 鎌倉芸術館・鎌倉女子大学, 9月.
- <社会活動>「きのこ料理教室」岐阜県健康キノコ振興会, 東海学院大学短期大学部, 10月.

寺 嶋 昌 代 (TERAZIMA, Masayo)

- <論文>「心の対話者(看護・介護部門) 講座とエニアグラムワーク体験Ⅱ」『東海女子短期大学紀要』第34号, pp17-24.
- <報告文>「東海女子短期大学生涯学習センター活動記録」杉山喜美恵(共著者)『東海女子短期大学紀要』第34号, pp127-142.
- <学会発表>「繊毛虫の魅力」東海学院大学・東海学院大学短期大学部学術交流集会, 10月.
- <講演>「WAQU2調査隊 身近な水辺自慢発表」BQYネットワークの集い発表会, 琵琶湖淀川水質保全機構主催, 大阪, 2月.
- <講演>「本当の自分に出会う」団塊世代向け市民講師養成講座, 岐阜市生涯学習センター主催, 岐阜市, 9月.
- <社会活動>岐阜県内水面漁場管理委員会委員, 各務原市環境市民会議委員長.

平 光 美津子 (HIRAMITSU, Mitsuko)

- <論文>「残食調査による栄養摂取量の把握についての一考察 Part 3 給食の栄養管理における食事摂取状況調査(10割法)の効率性」尾木千恵美, 内田美佐子『東海女子短期大学紀要』第34号, pp.1-10.
- <論文>「「ちびっ子食農教育」実践報告」杉山道雄, 石原加代子, 内田美佐子, 尾木千恵美, 古賀裕子, 鷺見孝子, 山澤和子(共著者), 『東海女子短期大学紀要』第34号, pp.89-100.
- <学会発表>「給食の効率的な栄養管理に用いられる食事摂取状況調査(10割法)についての一考察」尾木千恵美, 内田美佐子(共著者)第55回日本栄養改善学会学術総会, 鎌倉芸術館・鎌倉女子大学, 鎌倉市, 9月.
- <その他>「平成19年度(社)岐阜県栄養士会研究教育協議会事業「臨地・校外実習生受け入れに関するアンケート」の結果報告」石見百恵, 高木瞳, 田中恵子, 土屋ひろ子(共著者), (社)岐阜県栄養士会研究教育栄養士協議会発行, 1月, pp.1-20.
- <社会活動>岐阜県栄養士会生涯学習研修会新人研修講師(社)岐阜県栄養士会, 岐阜聖徳学園大学短期大学部, 岐阜市, 7月.

堀 田 康 雄 (HOTTA, Yasuo)

- <論文>「Dietary zinc and bio-function」『Niigata Journal of Health and Welfare』7(1), pp.105-111.
- <論文>「Topics 11」『ibid.』, pp.112-117.
- <論文>「Tenderizing of meat by using Maitake (Grifola frondosa) extract with low temperature steam cooking」, 山崎貴子, 伊藤直子, 岩森 大, 村山篤子(共著者)『Journal of Cookery Science of Japan』41(3), pp.176-189.
- <論文>「iPS細胞のはなしー分化した細胞の再プログラミング」『化学と薬学の教室』No.158, pp.16-18.
- <論文>「低温スチーム調理ときのごプロテアーゼを併用した食肉の軟化に関する研究」山崎貴子, 伊藤直子, 岩森 大, 村山篤子(共著者)『食に関する助成研究調査報告書』No.21, pp1-10.
- <学会発表>「Development of food material by means of low temperature steam cooking」山崎貴子, 伊藤直子, 岩森 大, 村山篤子(共著者), International Congress of Home Economics, Geneva, Switzerland., 6月.
- <学会発表>「減数分裂から学んだ半世紀」第20回高遠・分子細胞生物学シンポジウム, ジョナリー生命科学, 高遠, 8月.

<学会発表>「難食性食材の活用に真空低温スチーミング調理」東海学院大学・東海学院大学短期大学部学術交流集会, 10月.

#### 森 基子 (MORI, Motoko)

<著書>「応用栄養学 ―ライフステージから見た人間栄養学― 第8版」玉川和子, 澤純子, 足達淑子, 河野友信, 久米美代子, 佐古伊康, 中井誠一, 古谷博, 守田哲朗 (共著), 医歯薬出版.

<講演>「岐阜県の伝統食材と調理」東海学院大学主催食健康学科開設記念フォーラム, 東海学院大学図書館大セミナー室, 5月.

<講演>「賢い食事の選び方」岐阜県健康長寿財団主催, シルバー大学講座岐阜校, 大垣校, 美濃加茂校, 5月, 6月, 7月.

<講演>「食をめぐる諸問題と食事バランスガイドの活用について」静岡・愛知・岐阜・三重東海4県JA 中央会主催, JA 岐阜研修所, 6月.

<講演>「牛肉の栄養と調理」飛騨ミート協同組合連合会主催, 高山市ひだJA会館, 8月.

<講演>「岐阜の食文化」岐阜保健所主催, 各務原市岐阜保健所ハイビジョンホール, 9月.

<ラジオ放送>“神保絵利子のときめきぐっモーニング” ぎふチャン(岐阜放送) 番組『朝ご飯食べようね』コーナー担当, 各月の食育の日前後に放送, 5月, 6月, 7月, 8月, 9月.

#### <社会活動>

1) 水土里フォーラム「出会いの会」代表, アイリス愛知, 3月.

2) 岐阜県ならびに県関係の団体

ぎふクリーン農業表示審査会委員

岐阜県JAS関係企画認定業務判定委員会(有機農産物・有機加工食品)委員

岐阜県少子化対策県民連携会議委員ならびに仕事と家庭両立部会部会長

岐阜県地域支援マイスター

3) 岐阜市ならびに市関係の団体

岐阜市くらし安全推進協議会会長

岐阜市国民保護協議会委員

4) その他各市町

山県市, 海津市, 大野町の男女共同参画推進懇話会委員

#### 山内 加代子 (YAMAUCHI, Kayoko)

<論文>「乾物の調理簡便化の可能性について 第2報 家庭における干ししいたけの調理の現状」鷺見孝子, 石原加代子, 本間恵美 (共著者)『東海女子短期大学紀要』第34号, pp.11-16.

<研究発表>「野菜栽培体験学習が幼児対象の食育に及ぼす影響について」(東海学院大学地域食育サポートセンター 山澤和子, 鷺見孝子, 山内加代子, 杉山道雄)(東海学院大学附属第一幼 原弓貴, 茶座伊都子, 増村宏)(共著者), 日本調理科学会平成20年度大会, 椋山女学園大学, 愛知県名古屋市, 8月.

#### 山澤 和子 (YAMAZAWA, Kazuko)

<著書>「イラスト 食べ物と健康」種村安子他 (共著者), 東京教学社, pp.141-164, 197-204, 208-211.

<論文>「「ちびっ子食農教育」実践報告」『東海女子短期大学紀要』杉山道雄他(共著者), 第34号, pp.101-112.

<論文>「Gendered information on sensory, hedonic and familiarity ratings of green tea by female Japanese students」廣川空美(共著者)『Appetite』Vol.51, pp.343-346.

<学会発表>「野菜栽培体験学習が幼児対象の食育に及ぼす影響について」原 弓貴, 鷺見孝子, 山内加代子他(共著者), 日本調理科学会平成20年度大会, 椋山女学園大学, 8月.

<学会発表>「幼児対象の食育実践にみる野菜栽培体験の影響」水野かがみ他 (共著者), 第67回日本公衆衛生

学会総会, 福岡国際会議場, 10月.

<学会発表>「高齢者の生活満足度について」井上広国, 大森正英他(共著者), 第67回日本公衆衛生学会総会, 福岡国際会議場, 10月.

#### 山 澤 広 之(YAMAZAWA, Hiroyuki)

<学会発表>「調理実習による各種調理品中のアクリルアミド含有量」山澤広之, 小野裕嗣, 竹中真紀子, 吉田充, 堀端薫, 三好恵子, 漆山哲生, 大島潔, 山田友紀子(共著者), 日本食品科学工学会2008年度大会, 京都大学, 9月.

<学会発表>「昆虫の性フェロモンに関する研究」東海学院大学・東海学院大学短期大学部学術交流集会, 10月.

### 人間関係学部心理学科

#### 伊 藤 君 男(ITO, Kimio)

<著書>「心理学基礎実習 Vol.1 実験法・心理学レポートの書き方」西口利文, 松浦均(編), ナカニシヤ出版, pp.92.

<著書>「心理学入門 こころと行動の科学」和田実, 増田匡裕, 柏尾眞津子(共著者), 川島書店, pp.35-64, 213-226.

<著書>「心理学へのファーストステップ」羽成隆司・河野和明(編), ブレーン出版, pp1-23.

<学会発表>「Disgust and Avoidance for Stigmatized Persons as Reversed Mate Preference」河野和明, 羽成隆司(共著者), The 20th Annual Meeting of the Human Behavior and Evolution Society, 京都大学, 6月.

<学会発表>「法廷技術と心理学 一裁判員制度導入に向けて一(ワークショップ)」菅原郁夫, 荒川歩, 岡田悦典(共著者), 法と心理学会第9回大会, 南山大学, 10月.

#### 今 井 秀 周(IMAI, Hidenori)

<論文>「北方民族の祭天儀式における拝礼方向」『東海学院大学紀要』第1号, pp.1-14.

#### 大 澤 香 織(OSAWA, Kaori)

<著書>「外傷体験想起時の認知・行動が外傷性ストレス反応に及ぼす影響—Posttraumatic Cognition and Behaviors Model (PCBモデル)の構築—」北海道医療大学大学院看護福祉学研究科博士学位論文.

<著書>「第5章 問題解決療法」内山喜久雄・坂野雄二編, 日本評論社, 『認知行動療法の技法と臨床』, pp.52-56.

<研究報告書>「母親とともに家庭内暴力被害を受けた子どもに被害をおよぼす中中期的影響の調査および支援プログラムの研究」『平成19年度厚生労働科学研究子ども家庭総合研究推進事業研究実績報告書』pp.162-170.

<学会発表>「外傷後ストレス障害に対する臨床心理学的アプローチ」伊藤大輔, 佐藤健二, 堀越 勝, 長江信和(話題提供者・指定討論者), 日本心理学会第72回大会, 北海道大学, 9月.

<講演>「トラウマティック・ストレスに対するCBT—PTSDを中心として—」美濃認知行動療法研究会・アステラス製薬株式会社, ウェルネス高井クリニック, 6月.

<講演>「職場のメンタルヘルス—ストレスとうまくつきあうために—」岐阜市役所商工観光部産業振興課(平成20年度岐阜市産学官連携事業・岐阜市ビジネススクール), ハートフルスクエア—G, 10月.

#### 大 平 晃 久(OHIRA, Teruhisa)

<論文>「ベトナム・ホイアンの観光をめぐる日本の表象」『東海学院大学紀要』第1号, pp.85-93.



#### 小 河 妙 子 (OGAWA, Taeko)

- <学会発表>「睡眠時無呼吸症候群と記憶との関係ー治療前後の記憶課題成績の比較ー」岩崎淳子, 田中春仁 (共著者), 東海心理学会第57回大会, 愛知教育大学, 5月.
- <学会発表>「Factors affecting semantic similarity among Jukugo neighbors」川上正浩 (共著者), 心理学国際会議第29回大会, ベルリン国際会議場, 7月.

#### 神 谷 和 孝 (KAMIYA, Kazutaka)

- <著書>「現代福祉学」竹原健二編著 (他共著者), 学文社, pp68-82.

#### 寺 田 道 夫 (TERADA, Michio)

- <著書>「学校における不登校への対処 その4 ー心の声を聴くことの大切さー」岐阜県精神保健福祉協会教育・家庭部会専門委員会編『心の健康第23号』, pp.3-5.
- <論文>「不登校児への対処IV」『東海学院大学紀要』第1号, pp.107-136.
- <学会発表>「登校拒否への早期対処のあり方14」多田教子 (共著者), 東海心理学会第56回大会, 口頭発表, 名古屋大学, 5月.
- <学会発表>「欧米の不登校研究の足跡からみた今日の不登校問題への示唆1」人間性心理学会第27回大会, 口頭発表, 関西大学, 8月.
- <学会発表>「不登校の子ども理解と早期対処 1ー学校場面における複合的対処法導入の効用の検証」日本心理臨床学会第27回大会, 口頭発表, 筑波学院大学, 9月.
- <研究会発表>「風景構成法にみられる不登校児のイメージ」岐阜臨床心理学研究会第35回大会, 口頭発表, 十六プラザ, 8月.
- <講演>「子どもの心のものさし, 親の心のものさし」, 温地小学校PTA, 温地小学校, 6月.
- <講演>「不登校研究のルーツをたずねてー今日の不登校問題への示唆ー」, 岐阜県精神保健福祉協会・教育家庭部会専門委員会, 岐阜会館, 8月.
- <講演>「不登校傾向の児童への対応について」, 温地小学校校内研修会, 温地小学校, 8月.
- <講演>「学校のできる児童・生徒のアセスメント」, 大垣市教育相談自主研究会, 大垣市立東中学校, 8月.
- <講演>「子どもが断ち止まる時, 親が立ち止まる時」, 加茂地区PTA研修会, はなのき会館, 8月.
- <講演>「お母さんへのメッセージー親子の新しい旅立ちのために」, 海津市家庭教育推進委員会, 海津市立東江小学校, 11月.

#### 富 田 理 恵 (TOMITA, Rie)

- <著書>「一七世紀スコットランドにおける革命と政治社会」, 近藤和彦編, 山川出版社, 『歴史的ヨーロッパの政治社会』, pp.111-52.
- <学会発表>「歴史のなかのスコットランド-イングランド関係」, (司会者: 田中秀夫, 松園 伸, 他の報告者: 篠原 久, 犬塚 元), 第32回日本イギリス哲学学会 研究大会シンポジウムI「イングランドースコットランド合同のインパクトー合同300周年記念ー」, 帝京大学 (八王子キャンパス) 3月.
- <学会発表>「ブリテンにおける1536年と1560年ー二つの宗教改革による新たな連携と断絶」, (司会者: 森田安一, 他の報告者: 野々瀬浩司, 踊共二, 和田光司, 西川杉子), 山本信太郎 (共同報告者), 日本女子大学文学部・文学研究科 シンポジウム「ジャン・カルヴァン生誕500年記念に向けて ーヨーロッパ宗教改革の連携と断絶ー」, 日本女子大学 (目白キャンパス) 11月.

#### 花 井 正 樹 (HANAI, Masaki)

- <著書>「学校カウンセリングの理論と実践」佐藤修策 (監修), ナカニシヤ出版, pp.37-48, 65-70, 97-102.
- <著書>「学校教育相談体制推進プログラムの開発ー学校教育相談に関する各自自治体の取り組みについてー」『日本学校教育相談学会研究委員会』 pp.25-27.

- <著書>「不登校－学校に背を向ける子どもたち」上里一郎（監修），ゆまに書房，pp.129-140, 205-214, 215-226.
- <論文>「アスペルガー障害の子どもの成長過程－学校における集団活動を通して－」伊神京子（共著者）『学校教育相談研究』第18号，pp.53-61.
- <論文>「生徒指導と学校精神保健－学校を取り巻く社会の変化を通して－」『児童青年精神医学とその近接領域』第48巻，2号，pp.131-135.
- <解説>「不登校といじめ問題の解決のために 第2集」『独立行政法人教員研究センター』 pp.83-85, 89-92.
- <コメント>「不登校といじめ問題の解決のために」『独立行政法人教員研修センター』 pp.69-73.
- <講演>「不登校の理解と援助」愛知県教育委員会，愛知県総合教育センター，6月.
- <講演>「事例研究」独立行政法人教員研修センター（主催），独立行政法人教員研修センター，6月.
- <講演>「適応指導教室における援助の在り方について」全国適応指導教室連絡協議会，国立オリンピック記念青少年総合センター，7月.
- <講演>「中学生の心理」尾張旭市教育委員会，尾張旭市中央公民館，7月.
- <講演>「不登校についての理解と援助」愛知県教育委員会，愛知県総合境域センター，7月.
- <講演>「不登校理解と支援」クラーク記念国際高等学校，名古屋キャンパス，8月.
- <講演>「構成的エンカウンターグループ」開善塾教育相談研究所，国立オリンピック記念青少年総合センター，8月.
- <講演>「カウンセリングの技法」チャイルドラインぎふ，市橋コミュニティセンター，11月.
- <講演>「不登校の現状について」岐阜県教育委員会，岐阜県総合教育センター，12月.
- <研修会講師>「教員コンサルテーション」第13回学校臨床心理士全国研修会，愛知学院大学，8月.

#### 廣 利 吉 治 (HIROTOSHI, Yoshiharu)

- <学会発表>「障害のある子どもの発達支援におけるダイナミックアプローチ」日本発達心理学会第19回大会，ラウンドテーブル，大阪国際会議場，3月.
- <その他>「保育士養成講座」保育問題検討委員会研修講師，大阪府立労働センター，8月.
- <その他>「発達障害児の理解と指導」発達障害ワークショップ愛知教育スポーツ振興財団安城市教育センター講演会講師，安城市教育センター，10月.
- <その他>岡崎市六ッ美中部小学校特別支援担当現職研修講師，岡崎市六ッ美中部小学校，11月.

#### 福 井 義 一 (FUKUI, Yoshikazu)

- <著書>「親子で楽しむストレスマネジメント」松木繁（編），あいり出版，pp. 35-43.
- <論文>「Symondsの養育態度尺度再考－量的尺度化の試み及びその信頼性と妥当性の検討－」『同志社心理』第54巻，pp. 39-48.
- <論文>「催眠療法により人格統合に至った解離性同一性障害の心理アセスメント事例－4回のMMPIとバウムテストの結果－」飯野めぐみ，福井貴子（共著者）『東海学院大学紀要』第1号，pp.193-202.
- <論文>「EMDRと催眠の併用と統合的使用（特集 EMDR・・・トラウマ治療の新常識）」『こころの臨床 a・la・carte（星和書店）』第27巻，2号，pp. 277-284.
- <論文>「Q5 EMDRは催眠療法の一つですか？（特集 EMDR・・・トラウマ治療の新常識 第一部 EMDR Q&A集）」『こころの臨床 a・la・carte』第27巻，2号，p.13.
- <論文>「Q6 TFT（Thought Field Therapy）とはどこが違いますか？（特集 EMDR・・・トラウマ治療の新常識 第一部 EMDR Q&A集）」『こころの臨床 a・la・carte』第27巻，2号，p.14.
- <論文>「成人愛着スタイルと自己愛・自尊感情の関連」『東海心理臨床研究』第3号，pp.5-12.
- <論文>「催眠とEMDRの併用と統合的使用 その2－催眠によりEMDRを治療的に補完し得た事例－」『臨床催眠学』第9巻，pp.55-62.
- <論文>「日本における臨床催眠の原典－アカデミズムの枠外にあった明治時代の臨床催眠の実例－」『臨床催眠学』第9巻，pp.63-72.

眠学』第9巻, pp.18-25.

<論文>「催眠古書探訪 その3－催眠療法の遠祖メスメラー」『臨床催眠学』V9, pp.75-81.

<論文>「解離性同一性障害の催眠療法－パニック障害の訴えから解離性同一性障害の症状が顕在化した事例を通して－」『催眠学研究』第50巻, 2号, pp. 13-22.

<学会発表>「解離性体験とアレキシサイミア傾向の関連」第7回日本トラウマティック・ストレス学会, 福岡国際会議場, 4月.

<学会発表>「EMDRの再処理における身体記憶と身体解離への対応」日本EMDR学会第3回学術大会, 長良川国際会議場, 5月.

<学会発表>「掻破のコントロールにEMDRが有効であったアトピー性皮膚炎の1例」上田英一郎, 加藤則人, 岸本三郎(共著者)日本EMDR学会第3回学術大会, 長良川国際会議場, 5月.

<学会発表>「子育て充実度尺度作成の試み－予備的検討－」日本ストレスマネジメント学会第7回学術大会, 関西福祉科学大学, 7月.

<学会発表>「本来感と「もっと自分らしくありたいと思う傾向」が心理的健康に及ぼす影響」日本人間性心理学会第27回大会, 関西大学, 8月.

<学会発表>「本来感と目標本来感が心理的健康に及ぼす効果－成人愛着スタイルを調整変数として－」成瀬友貴美(共著者)日本健康心理学会第21回大会, 桜美林大学, 9月.

<学会発表>「認知された養育態度や愛着型と楽観・悲観主義の関係－性差を考慮した検討－」, 日本心理学会第72回大会, 北海道大学, 9月.

<学会発表>「完全主義と先延ばし傾向が抑うつに及ぼす影響－GPS(General Procrastination Scale)日本語版を用いて－」山下由紀子(共著者)日本心理学会第72回大会, 北海道大学, 9月.

<学会発表>「親からの否定的な言葉が自尊心や愛着型、対人スキルに及ぼす影響」野村早也佳(共著者)日本心理学会第72回大会, 北海道大学, 9月.

<学会発表>「サイコオンコロジー分野への思考場療法 (Thought Field Therapy) の導入－精神科医と身体科病棟看護師の新たな連携の試み－」中口智博, 山崎 猛, 出井絢子, 角田香織, 大関良子, 松島知子, 加藤敏(共著者)第21回日本サイコオンコロジー学会, 学術総合センター, 10月.

<学会発表>「ロールシャッハ・テストにおける父親・母親図版解釈仮説の妥当性に関する研究」岡崎 剛, 山下景子(共著者)日本ロールシャッハ学会第12回大会, 新潟青陵大学, 10月.

<学会発表>「成人愛着スタイルと解離性体験、心理的健康の関連について－クラス分析によるサブタイプ抽出の観点から－」日本催眠医学心理学会第54回大会, いわき明星大学, 11月.

<学会発表>「日本語版ハーバード集団催眠感受性尺度HGSHSの実施経験(第二報)」野村早也佳, 中村千珠, 高石 昇(共著者)日本臨床催眠学会第10回学術大会, 東海学院大学, 11月.

<学会発表>「大会長講演 臨床催眠とEMDRの併用と統合的使用－両者の出会いがトラウマケアにもたらす可能性－」日本臨床催眠学会第10回学術大会, 東海学院大学, 11月.

<講演>「家族システムから見た不登校の短期的援助」, 岐阜県SC研究会(岐阜地区), 東海学院大学, 4月.

<講演>「カウンセリングの初級講座」, 日本TFT協会, TFTセンター横浜, 6月.

<講演>「家族システムから見た不登校の短期的援助」, 岩野田中学校夏期教員研修, 岩野田中学校, 8月.

<講演>「家族システムから見た不登校の短期的援助」, 岩野田北小学校夏期教員研修, 岩野田北小学校, 8月.

<講演>「EMDRを成功させる秘訣 みたび」, 東海EMDR勉強会, 名古屋, 8月.

<講演>「カウンセリングの初級講座」SYサイコセラピー研究会, 東海学院大学, 8月.

<講演>「メンタルヘルス研修」, (株)イノアック, 9月.

<講演>「EMDR治療における解離の取扱説明書」, 日本EMDR学会臨床セミナー, カリアック(浜松), 12月.

#### 宮 本 邦 雄 (MIYAMOTO, Kunio)

<論文>「青年期の愛着スタイルと情緒的応答性の関連」安田藍(共著者)『東海学院大学紀要』第1号, pp.203-210.

<学会発表>「Attachment styles and emotional availability to infants in young adult females.」 XXIX the International Congress of Psychology, Berlin, July.

<学会発表>「看護師の職業意識 1 – 自由記述資料の定量的分析 –」日本心理学会第72回大会, 北海道大学, 9月.

<学会発表>「看護師の職業意識 2 – 自由記述資料の定性的分析 –」日本教育心理学会第50回大会, 東京学芸大学, 10月.

<その他>平成20年度岐阜県看護協会指導者研修会講師, 岐阜県ふれあい会館, 6～7月.

#### 明 翫 光 宜 (MYOGAN, Mitsunori)

<論文>「高機能広汎性発達障害と統合失調症におけるロールシャッハ反応の特徴 – 数量的分析」『包括システムによる日本ロールシャッハ学会会誌』第12号, pp.39-49.

<論文>「自閉症の早期療育の現状と展望」野村香代・並木典子・杉山登志郎 (共著者)『厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学事業発達障害者の新しい診断・治療法に関する研究平成19年度総括分担研究報告書』, pp.27-46.

<論文>「大府市療育通園施設「おひさま」における療育の1年間の成果：前方向視研究のためのパイロットスタディ」並木典子・杉山登志郎・野村香代 (共著者)『厚生労働科学研究費補助金こころの健康科学事業発達障害者の新しい診断・治療法に関する研究 平成19年度総括分担研究報告書』 pp.47-51.

<論文>「フラッシュバックの対応の工夫」『アスペハート』 Vol.20, pp.20-23.

<学会発表>「The difference of Rorschach Special Scores between high-functioning pervasive developmental disorder and schizophrenia」 X IX International Congress of Rorschach and Projective Methods, レーベンカトリック大学, 8月.

<講演>「片口法とExner法の双方を学ぶことの意味」東京臨床心理士会第二ブロック研修会, 東京通信病院, 10月.

<講演>「発達障害のロールシャッハ法」東京臨床心理士会第二ブロック研修会, 東京通信病院, 10月.

#### 矢 澤 久 史 (YAZAWA, Hisashi)

<論文>「指導者の言葉かけが子どものやる気と認知に及ぼす影響」『東海学院大学紀要』第1号, pp.211-217.

### 人間関係学部子ども学科

#### 蘭 和 真 (ARARAGI, Kazuma)

<著書>「Active Sports 総合版2008」共著, 大修館書店, pp, 239-248.

<著書>「Active Sports 女子版2008」共著, 大修館書店, pp, 255-264.

<論文>「ナルトルールの出処に関する研究メモ」, 『東海学院大学紀要』第1号, pp. 219-222.

#### 川 島 大 司 (KAWASHIMA, Daiji)

<著書>「情報処理 – Word & Excel 2007 –」, 学術図書出版社.

<著書>「情報科学 – Word & Excel 2003 –」, 学術図書出版社.

<論文>「テンポの短期保持の研究 (1)」, 『東海学院大学紀要』第1号, pp.223-226.

<学会発表>「性能的性格 (7)」, 日本応用心理学会第75回大会, 横浜国立大学, 9月.

<学会発表>「テンポの研究 (2)」, 日本教育心理学会第50回大会, 東京学芸大学, 10月.

#### 北 山 長 貴 (KITAYAMA, Nagaki)

<著書>「最新英語語法辞典」福井慶一郎, 朝日出版.

<分担執筆>「寺山修司と『マザー・グース』の翻訳 – 「ロンドン橋が落ちこちた」における寺山修司からのメッ

- セージー」国際寺山学会編 『寺山修司研究 【第二号】』, 文化書房博文社, pp.157-70.
- <著作テキスト> 「Mastering Basic English Grammar－基礎英文法とリーディング演習」 マーガレット・山中, 福井慶一郎, 成美堂.
- <論文> 『『小学校英語活動』における語彙・表現の研究 :Elementary School English: A Study on its Vocabularies and Sentence Patterns』『東海学院大学紀要』第1号, pp.227-40.
- <学会発表> 「小学校英語活動における発音指導と文字指導のかかわりについて－英語語彙の音節数の認識調査より－」, 日本英語音声学会第15回中部支部研究大会, 中部大学名古屋キャンパス, 3月.
- <学会発表> 「寺山修司のマザー・グース」国際寺山修司学会第5回春季大会, 青森大学, 5月.
- <学会発表> 「寺山修司と『マザー・グース』」国際寺山修司学会第6回秋季大会, 愛知学院大学楠元学舎, 10月.
- <その他> 「平成20年度ノビルサー夏季講座 英会話講座:Let's Study Abroad in Kakamigahara!」の企画・実施, 各務原市小中校長会主催, 各務原市少年自然の家, 7月.

#### 斉藤 由里 (SAITO, Yuri)

- <論文> 「軽度発達障害児への小集団社会的スキル訓練とその効果について」『東海学院大学紀要』第1号, pp.241-247.
- <論文> 「発達障害児へのソーシャルスキル訓練とその効果に関する脳機能計測の検討 (中間報告)」『発達研究』第22巻, pp.271-280.
- <学会発表> 「軽度発達障害児への社会的スキル訓練の効果」, 日本発達心理学会第19回大会, 追手門学院大学, 3月.
- <学会発表> 「Are female nurses' utterances special stimuli for premature infants in the neonatal intensive care unit? -The approach to the frontal cerebral blood flow changes using NIRS-」 Rie Fukuhara, Shiori Aoyama, Tamotsu Toshima (共著者) 11th World Congress of the World Association for Infant Mental Health, 横浜国際会議場, 8月.
- <学会発表> 「触覚的質感の違いに対する脳血流変化と情動評価の関連」, 日本心理学会第72回大会, 北海道大学, 9月.
- <学会発表> 「軽度発達障害児を対象としたSSTにおける子どもの発話と教師の対応の関連」, 日本教育心理学会第50回大会, 東京学芸大学, 10月.

#### 高 嶋 純 (TAKABATAKE, JUN)

- <絵本> 「どうするどうする あなのなか」(きむらゆういち・文), 福音館.
- <絵本> 「だじゃれオリンピック」(中川ひろたか・文), 絵本館.
- <絵本> 「十二支のはやくちことばえほん」, 教育画劇.
- <童話> 「あたまやま」(斉藤洋・文), あかね書房.
- <すごろく> 「どっちもすごっ! すごろく」(中川ひろたか・作), 世界文化社.
- <新聞連載> 「イトウくん」(三木 卓・文), 毎日新聞, 7月1日～7月31日 (30回).
- <月刊誌> 「4ページえほん・ゆきだるま」小学館, 『おひさま』 1月号, pp.56-59.
- <月刊誌> 「4ページえほん・だれかな」小学館, 『おひさま』 3月号, pp.54-57.
- <月刊誌> 「4ページえほん・クレヨン」小学館, 『おひさま』 5月号, pp.36-39.
- <月刊誌> 「4ページえほん・たこの夏の日」小学館, 『おひさま』 7月号, pp.54-57.
- <月刊誌> 「4ページえほん・きりんちゃんとカエルくん」小学館, 『おひさま』 9月号, pp.68-71.
- <月刊誌> 「4ページえほん・がまんくらべ」小学館, 『おひさま』 11月号, pp.46-49.
- <表紙・本文イラストレーション> 「旅行英会話」アルク.
- <イラストレーション> 「2009年カレンダー」絵本館.
- <イラストレーション> 「2009年カレンダー」香川銀行, (第60回全国カレンダー展)において日本印刷産業連合会会長賞受賞).

- <イラストレーション> 「2009年カレンダー」 美濃加茂文化の森.
- <講演> 「絵本の絵を楽しむ」三野町図書館主催, 香川県三豊市, 三野町図書館, 1月.
- <講演> 「絵本の中の絵のメッセージ」グー・チョキ・パー主催, 愛知県海部郡美和町, 福祉センターすみれの里, 2月.
- <講演> 「絵本の絵」坂出子どもの本を楽しむ会主催, 香川県坂出市, 坂出市立大橋記念図書館, 3月.
- <講演> 「子どもと読書」子ども読書地域フロンティア事業やまなし実行委員会・文部科学省主催, 山梨県山梨市, 山梨市民会館, 11月.
- <講話とワークショップ> 「絵本の中の美術, 美術の中の絵本」 「絵本制作」 岐阜市小中学校校外研修中学校美術部会主催, 岐阜県岐阜市, 岐阜県総合教育センター, 8月.
- <ワークショップ> 「ペーパークラフト クリスマスステージ」 美濃加茂文化の森主催, 岐阜県美濃加茂市, 美濃加茂文化の森, 12月.
- <ワークショップ> 「サンタさんづくり」 岐南ボランティアネットワーク主催, 岐阜県羽島郡, やすらぎ苑, 11月.
- <展覧会> 「ことばあそび絵本原画展」 絵美術館森のおうち主催, 本長野県安曇野市, 絵本美術館, 7月18日～9月16日.

#### 藤 井 康 寿 (FUJII, Kouju)

- <論文> 「遷移区間を伴う異材界面亀裂を有する長方形板の固有周期に関する研究」 國富康志, 松岡功治, 土山正登, 中川建治 (共著者) 『土木学会論文集A』 Vol.64, No.1, pp.156-166.
- <論文> 「異材界面き裂問題の解析法に関する基礎的な研究」 中川建治 (共著者) 『名城大学理工学部研究報告』 名城大学理工学部, 第48号, pp.32-35.
- <学会発表> 「力学オタクから情報そしてアニメーションオタクに至る私の研究遍歴」, 東海学院大学・東海学院大学短期大学部学術交流集会, 東海学院大学, 10月.